

風の中の子供 (1937)

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 日本
色彩 B&W
時間 87分
初公開日 1937/11/11

【解説】
坪田譲治が朝日新聞に連載した同名小説を、斎藤良輔が脚色し清水宏が監督した。子供たちの日常を、彼らの目線で生き生きと描いた清水の手腕が見事。1957年には山本嘉次郎監督が「善太と三平物語 風の中の子供」というタイトルで再映画化している。
小学五年の善太と小学一年の三平は、今日も楽しい夏休みを過ごしていた。しかしある日、警察が家にやってきて二人の父親を逮捕してしまうことから、二人の生活は激変する。三平は遠くの親戚の家に預けられることになり、兄弟は離ればなれに。善太は一人でかくれんぼをして寂しさを紛らわせようとする。三平は田舎で冒険の日々を送るが、手を焼いた親戚のおばさんに帰されてしまう。

【クレジット】		
監督	清水宏	
原作	坪田譲治	
脚色	斎藤良輔	
撮影	斎藤正夫	
セット	江坂実	
	岩井三郎	
音楽	伊藤宣二	
出演	河村黎吉	父親
	吉川満子	母親
	葉山正雄	善太
	爆弾小僧 Bakudan Kozo	三平
	坂本武	おじさん
	岡村文子	おばさん
	末松孝行	幸介
	長船タヅコ	美代子
	突貫小僧	曲馬団の少年正太
	若林広雄	曲馬団の親方
	谷麗光	医師
	隼珍吉	馬丁
	石山隆嗣	佐山
	アメリカ小僧 America Kozo	金太郎
	仲英之助	刑事
	笠智衆	巡査
	長尾寛	赤沢
	河原侃二	執達吏